



平成 19 年 3 月 30 日

各 位

会 社 名 株式会社 広島 銀行
 代表者名 取締役頭取 角 廣 勲
 (コード番号 8379 東証第 1 部)
 問合せ先 総合企画部長 吉野 勇治
 (TEL. 082 - 247 - 5151)

平成 18 年度通期の業績見通しについて

当行では、平成 19 年度より新しい中期計画をスタートさせる予定であり、それに先立ち、平成 18 年度 (平成 19 年 3 月期) 通期の業績見通しについて、下記の通りお知らせいたします。

記

《平成 18 年度の業績見通し：単体》

(億円)

	平成17年度 実績	平成18年度 見込	前年比	
			前年比	11月公表比
経 常 収 益	1,475	1,617	142	62
資 金 利 益	891	894	3	
役 務 取 引 利 益 等	205	231	26	
コ ア 業 務 粗 利 益	1,096	1,125	29	
△ 経 費	597	603	6	
コ ア 業 務 純 益	499	522	23	△ 3
債 券 関 係 損 益	0	11	11	
株 式 関 係 損 益	15	51	36	
うち有価証券関係損益	15	62	47	
△ 一般貸倒引当金繰入	△ 31	32	63	
△ 不良債権処理額	218	208	△ 10	
うち△与信費用	187	240	53	
経 常 利 益	313	341	28	△ 14
当 期 純 利 益	183	202	19	△ 3
連 結 当 期 純 利 益	189	208	19	△ 1

- ・ コア業務純益は、金融商品の販売や投資銀行業務による役務取引利益等が順調に増加していることを主因にコア業務粗利益が増加していることから、前年比 23 億円増益の 522 億円となる見込みです。
- ・ 経常利益は、堅調な市場環境を背景に不動産投資信託および株式の売却益を計上した一方で、さらに厳格な自己査定によりこれまで以上に厚めの貸倒引当金を計上することとしたため与信費用が増加しますが、前年比 28 億円増益の 341 億円となる見込みです。
- ・ 同様に当期純利益は、前年比 19 億円増益の 202 億円となる見込みです。
- ・ これらコア業務純益、経常利益および当期純利益は、いずれも過去最高益となる見込みです。

<参考：平成 19 年度の業績見通し：単体>

- ・ 平成 19 年度の業績予想につきましては、平成 18 年度に引き続き過去最高益の更新を目指しており、「コア業務純益 540 億円 (前年比+18 億円)」、「経常利益 395 億円 (前年比+54 億円)」、「当期純利益 230 億円 (前年比+28 億円)」程度を見込んでおります。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上

本件に関するお問合せ先は
 株式会社 広島銀行 総合企画部
 企画室 室長 日下 智晴
 TEL. 082-504-3823